

労福協 NEWS

2018.4 No.88

2018年度 労働者福祉推進員養成講座始まる！

労働者の意識の多様化、管理職の若年化などにより、労働運動と労働者福祉運動が車の両輪という意識が薄れ、労働組合運動における労働者福祉運動の比重が低下してきており、労働組合運動として組合員への労働者福祉事業が十分に取り組むことができなくなっています。

そのため、労働者福祉運動が、労働者福祉事業体の取り組みにゆだねられる傾向となっており、事業体職員に任せきりという状況となっています。

事業体職員は、労働者が労働者福祉運動をともに推進し、高め合う仲間というよりも事業推進の対象者として、「お客様」意識で対応している傾向があります。

そこで、労働運動と労働者福祉運動の歴史を学び、その意義を再確認して労働運動の幅を広げることに寄与するとともに、労働者が現在の生活を見直し将来設計に取り組み豊かな人生を送ることに寄与するために労働者福祉推進員養成講座を実施することとなりました。

労働者福祉事業に関わる多くの役職員が受講することを期待します。



「労福協NEWS」は、連合、労金、全労済、勤労者福祉ネットワーク、労館、労福協の6団体による「共同デスク編集委員会」を持ち発行しています。

労 福 協

ジョブカレッジとくしま

◆法改正に伴う講座環境の変化

平成28年度より国家資格である介護福祉士を受験するにあたり、介護職員実務者研修課程を修了することが必要となりました。求職者に対しては公共職業訓練や求職者支援訓練などの講習を受講することによって受験資格が得られますが、在職者の方々には大きな負担となっております。

以前より開校しておりました、「介護職員実務者研修」の年間開講数を増やすことで、より多くの介護職員が受講する環境ができました。

さらに毎年1月に行われる介護福祉士試験の対策として11月より直前対策講座を設け、ワンストップで受験まで学ぶことができます。特に対策講座では専任の講師によりチェックポイントから過去問題・模擬問題まで幅広く学習します。合格率は80%以上を維持し、平均合格率の60%を大きく超えています。



同行援護従事者については平成30年3月31日までに養成研修を修了する必要がある、本校も

年間で2回実施しており、平成30年2月開校の養成研修では、応募締め切りを前にしてすでに定員を超過しました。

また、徳島クレメント様や徳島バス様の協力もあり、実技体験を通してきめ細かな講座を行っております。



◆求職者向け職業訓練

徳島県における介護施設数は現在1,100施設を超えており、近年特にサービス付き高齢者向け住宅など新たな形態の施設が増加傾向にあります。県内の高齢者数も増加の一途を辿っており、ニーズに沿った施設数の増加であることがわかります。

しかし、職員の数が圧倒的に足りていません。本校では質の高い授業を提供して即戦力になれる人材育成を主とし、より良いサービスの提供が行えるように指導します。

ジョブカレッジとくしまでは現在まで370名の実務者研修修了生を輩出しており、毎コース90%~100%の就職率を維持しております。今後もより良い人材を育成して介護の現場へ送り出せるよう全力を以ってサポートさせていただきます。

平成30年度の介護福祉士試験は受験資格として 実務者研修の修了が必須となっています！

各種講座の紹介

●介護実務者研修（昼間課程）

平日スクーリング形式で学ぶ訓練コース
※お申し込みお問い合わせは最寄りのハローワークまで

●介護実務者研修（通信課程）

「自宅学習 + 通学講習」だから働きながら学ぶことができます。

●その他講座

ガイドヘルパー養成講座（全身性）
同行援護養成研修（一般・応用課程）
介護福祉士試験・ケアマネ試験対策講座

お申込み
お問合せ



088-622-0520

ジョブカレッジとくしま

<http://www.tokushima-rofuku.net/job-college/>

連 合

2018 Syuntoふれあいファミリーデー



県民と働く者のフェスタ実行委員会、連合徳島、徳島県春闘共闘会議は2018年3月11日、あすたむらんど徳島において、2018Syuntoふれあいファミリーデーを開催し、連合徳島各構成組織の組合員や家族など約1,300人が参加した。（あすたむらんど徳島の入場者数は5,022人）

開会にあたり主催者を代表して、連合徳島森本会長から「2018 春季生活闘争は、すべての労働者の立場にたって働き方を見直そう！『底上げ・底支え』『格差是正』でクラシノソコアゲ！をスローガンに、政策・制度実現と労働諸条件改善に取り組んでいる。『働くことを軸とする安心社会』の実現に向けた政策課題については、政府・政党への働きかけとともに、連合本部・構成組織・地方連合会が一体となり幅広い運動を展開している。また、長時間労働が深刻な問題となっている中、労働時間規制の実効性を高めるには、休日労働の抑制、限度時間を超える場合の健康確保措置だけではなく、36協定の周知・点検・過半数労働組合・過半数代表者が適正に選出されているかの確認などの徹底が重要であり、さらなる制度の拡充を求め、運動を継続していく。本日は、青空のもと仕事を忘れて、ご家族と楽しい一日を過ごしてほしい」と挨拶。

続いて、「深夜労働」「最低賃金」「無期労働契約への転換」などの労働基準法をテーマにコントを上演し、連合徳島の取り組みを紹介した。

震災復興支援大抽選会を行い、宮城、福島、岩手、熊本の物産品を賞品として、午前と午後の当選者 105 人に手渡された。



仮面ライダービルドショーでは、待ちわびた大勢の子どもたちの歓声が満天の青空に響き渡り、写真撮影会には長蛇の列ができた。午後14時46分、7年前の3月11日に東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を祈り参加者全員で黙祷を捧げた。

開催会場では、「STOP！長時間労働」のアンケート調査を呼びかけるとともに、労働・生活相談窓口の設置や女性委員会、青年委員会による綿菓子、ドリンクの販売等も行い、多くの参加者で賑わった。



ろうきん

徳島地区青年女性部「学習会」開催報告

2018年2月3日にろうきんホールで徳島地区推進委員会青年女性部主催の「学習会」を開催し、39会員・総勢124名の組合員に参加いただきました。

長尾青年女性部部長の挨拶の後、連合徳島西部地域協議会議長の大西茂氏より「労働組合とろうきん運動」のご講演をいただき、「労働金庫設立の背景」、「銀行と労働金庫との違い」、「労働金庫と労働組合の繋がり」、「労働金

庫のサービスの歴史」などの話を聞くことができました。

また、講演終了後は理解度テストが行われ、満点の成績優秀者10名の中から抽選で6名に豪華景品がプレゼントされるなど、大盛況で学習会の幕を閉じました。今回の「学習会」により、青年女性部を中心とした組合員が「労働組合とろうきん運動」について多くを学ぶことができました。



他社でご利用中のローン金利を
半分にして借換えします

会員
限定

おまとめ専用カードローン

一本太助
IPPON TASUKE

メリット①

数社で借りている債務を四国ろうきんに一本化ローン管理が容易に。

現状の借入残高を四国ろうきんのローンで一括返済。その後は四国ろうきんへの返済のみになります。

メリット②

他社の金利を半分にします。

ローン返済の負担が大幅に削減。

他社借入の残高総額の加重平均により金利を再設定。他社の金利を半減いたします。

働くあなたを応援したい
四国ろうきん

全 労 済

徳島県共済生活協同組合 60 周年記念
全労済文化フェスティバル 「赤毛のアン」

おかげさまで全労済は
60周年を迎えました

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会



赤毛のアン 詳細

2018年4月1日(日)に徳島県共済生活協同組合の60周年を記念して、全労済文化フェスティバル「赤毛のアン」を開催しました。

- 1 開催日時 2018年4月1日(日)15時～17時
- 2 開催場所 鳴門市文化会館
- 3 定員 1,300人
- 4 開催趣旨

徳島県共済生活協同組合は、2018年1月に60周年を迎えました。組合員の皆様へ日頃の感謝の気持ちを込めて、全労済文化フェスティバルを開催し、「赤毛のアン」を上演いたしました。

「全労済ぼうさいカフェ in 四国酒まつり 2018」開催報告

2018年2月24日(土)に三好市池田町にて、西部ライフサポートセンター全面協力のもと、防災イベントを開催しました。



全労済ブース周辺の様子

- 1 開催日時 2018年2月24日(土)11時～15時
- 2 開催場所 西部ライフサポートセンター駐車場
- 3 来店者数 約400人
- 4 実施内容
 - ・非常食の試食(乾パン・ビスケット・ドロップ・えいようかん)
 - ・パネル展示(住宅災害・津波)
 - ・あったかいコーンスープの提供

ほなけん安心! ええじょ! 全労済

新生活応援キャンペーン



全労済はおかげさまで60周年を迎えました。
これまでの感謝の気持ちを込めてキャンペーンを実施しています。
就職、入学、引っ越し、新たな出会い…。
これからじまる新生活を全労済は応援します。
ご来店いただいた方には、素敵な景品をプレゼント。
皆さまのご来店をお待ちしております。

3月1日(木)～4月30日(月)

勤労者福祉ネットワーク

◆「被爆アオギリ二世 植樹3周年平和祈念の集い」を開催します

来たる4月22日(日)、三好市健康とふれあいの森にて、「被爆アオギリ二世 植樹3周年平和祈念の集い」を開催します。

戦後70年にあたる2015年4月、「平和を愛する心」、「命あるものを大切に
する心」を後世に伝えるための取り組みとして、広島市より「被爆アオギリ二世」
の苗をご提供いただき、「三好市健康とふれあいの森」の一角に植樹しました。

恒久平和を誓い、祈念植樹した「被爆アオギリ二世」も、本年4月で3年が経ち、
今では3m近くまで大きくなりました。

この度、戦争の悲劇、苦しみを風化させない、そして悲劇的な戦争を二度と繰
り返さないことをあらためて誓うとともに、未来の人々に語り伝えることを目的
に、「被爆アオギリ二世 植樹3周年平和祈念の集い」を開催します。

当日は、地元の中学生によるブラスバンド演奏、子どもたちの「今この瞬間の
平和への想い(作文)」をタイムカプセルに埋蔵し10年後の自分たちに届ける
イベント。もち投げ、平和への祈りを託した紙ひこうきを飛ばすなど、アトラク
ションも計画しております。

皆様のご参加をお待ちしております。

参加希望の方は(公財)徳島県勤労者福祉ネットワーク【088-655-2940】
までお問い合わせ下さい。



2015年4月に祈念植樹した被爆アオギリ二世



平木彰子さんの講演に耳を傾ける参加者



会場参加型の講演で理解度アップ

◆あわ〜ず徳島『ワンランク上の会話力・雑談力マナーアップ研修』開催

3月5日(月)ろうきんホールにて、事業主・管理職・中堅職員向けに『ワン
ランク上の会話力・雑談力マナーアップ研修』を開催しました。2014年より
毎年開催していますが、年度の節目にあたり人事異動や新人研修を控えるこの時
期、参加者からは大変好評を得ています。

今回は元四国放送アナウンサー平木彰子さんを講師にお迎えし、ご講演いた
きました。阿波弁を交えた分かりやすい話し方で、会場を巻き込みながら理解度
を上げていく手法は、そのスタイルそのものが会話力、雑談力のお手本となっ
ていました。

内容の方も、うまくいく上司と部下のコミュニケーション、プライオリティを
付けた短いセンテンスで行う伝達方法、トラブルを未然に防ぐテクニック、人材
教育など、部下を持つ立場の職員にとって、即実践に役立つ内容ばかりで、有意
義な研修となりました。

お友だち募集中!!

くーぽん丸。公式
COUPONMARU

LINE@
はじめました

新しい店のオープン情報やイベント案内を配信予定。お楽しみに。



地域ライフサポートセンターの活動

徳島中央ライフサポートセンター

「キウイ収穫体験祭り」報告

※と き 2017年11月18日(土)10時30分～

※と ころ 佐那河内村果樹オーナー「キウイ園」

※参加者数 103名(幼児、スタッフ含む)



【概要】

「県民と働く者のとくしまフェスタ 2017」の一環として、県民の皆さんが家族やグループで楽しめる「キウイ収穫体験祭り」を行いました。

9月13日(水)から10月13日(金)まで当センターのホームページや電話で体験者の募集を行い、募集人員100名のところ164グループ438名の応募がありました。10月18日(水)厳正な抽選を行い40組107名の当選者を決定しました。



11月18日(土)の当日は、雨が前日から降り続き早朝は大雨模様でした。この為、参加者の方々からは開催を心配し沢山の電話がありましたが、開催時には雨も上がり安堵したところです。参加者の方々は、天気を見て出発してこられたのか、遅れて来る方、不参加の方等様々でしたが、103名(幼児、スタッフ含む)と多くの方に参加頂きました。オープニング式では、徳島中央ライフサポートセンター宮本会長から「徳島中央ライフサポートセンターは、地域の方々をサポートする地域福祉の拠点として活動を行っています。キウイ収穫祭りも行事の一つです。ただ、誰が悪いのでしょうか?また、雨の天気で開催となりました。キウイ園はぬかるんでいます。滑って怪我をしないように、キウイ園の上のほうまで行って、かご一杯にキウイを採ってください。」とのあいさつの後、「キウイ収穫体験祭り」が始まりました。キウイ園の上のほうが大きくて多くのキウイが生っていることから、参加者の皆さんは、キ

ウイ園の上のほうから入園し、大きなキウイや沢山生っているキウイの木の下へ。小さな子どもたちは、保護者の方に抱えられ一生懸命キウイを摘んでいました。かごが一杯になると神社の前で持ち帰りのビニール袋にキウイを詰めます。山盛りにしてキウイがゴロゴロ落ちる人も。

持ち帰り準備の出来た方々は、試食用キウイの味見や、スピードくじを引き景品を受取ると、三々五々解散し「キウイ収穫体験祭り」を終了しました。参加者の皆様お疲れ様でした。また、当日は、雨の残る天候にも関わりませず、ご協力頂きました、園主の方々、スタッフの皆様ありがとうございました。

性の多様性と人権について考える交流会in徳島報告

2月9日(土)夕、労働福祉会館において、「性の多様性と人権について考える交流会 in 徳島」を開催しました。

同会は第38回部落解放・人権徳島地方研究集会の開催にあわせ、セクシュアルマイノリティ(性的少数者=以下、セクマイ)をはじめ、すべての人が、ありのままに生活

できる地域社会を築いていくことを目的に、地方研究集会の講師4人を中心に企画された交流会です。

参加者はセクマイ当事者の学生、引きこもりの子を持つ親、地元でセクマイの活動に取り組む関係者など18名。交流会を通して、地方はセクマイにとって生きにくい社会であることや、性にはグラデーションがあり「LGBT(レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー)」以外にも多様であるという事実を確認する場にもなりました。最後に、参加者からは「今まで自分自身のことを自由に話せる場がほとんどなく窮屈な毎日を送っていた」「今回のように、徳島市にセクマイ当事者が集まる会を引き続き開催してほしい」との強い要望も受け閉会しました。



徳島西部ライフサポートセンター

～全労済ぼうさいカフェin四国酒まつり2018～

2月24日(土)に、全労済ぼうさいカフェin四国酒まつり2018が催されました。昨年と同じく、徳島西部ラ

イフサポートセンター駐車場にて行い、非常食の試食や全労済のチラシを配布しました。当日は天候も良く、昨年以上の人出がありました。

防災パネルの展示もあり、多くの方がその前で足をとめていました。また、非常食の試食では、乾パンやクッキーなどやわらかく美味しいと話す方もたくさん



いました。

防災意識は年々と高まっており、大人も子どもも大勢の方々が関心のあることだと、改めて感じました。

～地域貢献事業(スポーツ少年団支援)～

昨年度も地域貢献事業として、スポーツ少年団支援を行いました。

①第32回徳島県西部小学生バレーボール連盟春季大会(5/21) ②第12回東みよし町スポーツ少年団サッカー大会(10/7) ③第26回パナソニックヘルスケア杯少年サッカー大会(2/11) ④第1回阿波池田ライオンズクラブ旗争奪学童軟式野球大会(2/25)が開催され、後援しました。

どの大会でも、子どもたちは日頃の練習の成果を発揮し、白熱した闘いを繰り広げました。

未来を担う子どもたちをサポートするためにも、今後もスポーツ少年団支援事業を続け、地域貢献していきたいと考えています。



徳島南部ライフサポートセンター

2017年度自動車運転免許取得特別講座・南部講座の閉講式

12月23日(土)午後6時15分から、2017年度自動車運転免許取得特別講座・南部講座の閉講式がありました。

5月から始まったこの講座は、台風22号襲来の影響で1回だけ延期になりましたが、そのほかは順調に、生徒の皆さんは熱心に通ってくれました。

まず労福協の川越敏良会長から、「皆さん、5月か

ら始まってこの12月まで、大変お疲れ様でした。宝先生、大変有り難うございました。車の免許は人生において非常に大事なものです。どうかこれから教習所に入って見事免許が取れるように、自信を持って挑戦してください」との挨拶がありました。



宝先生からは、「この講座ではいくらかでも質問ができるし、その人に合った勉強の仕方をしてきました。成績の安定してきた人は一日も早く教習所で免許を取ることに向かってほしい。自分を信じて頑張ってください。わからないことがあったら連絡をしてきてください」と励ましてくださいました。

次に昨年講座を受けて、先日見事に免許を取ることが出来た2人の生徒さんを紹介してお祝いを贈呈しました(11月にも1人お祝いしました)。2人からは「宝先生にわかりやすく教えていただきました。おかげで免許を取ることが出来ました。ありがとうございました」と喜びとお礼の挨拶がありました。2人とも車を自分で運転して来てくれました。

続いて生徒さんから閉講にあたっての感想を述べてもらいました。

「最初はなかなかついていけませんでした。先生のおかげでだんだんわかってきました。頑張って免許をとりたいです」「最初は点数が上下していましたが、最近は安定して高い点数をキープできるようになりました。早く教習所に入って免許を取りたいです」「これからもテキストをしっかりと読んで免許を取れたら旅がしたいです」

どの人も質問の意味が日に日にわかってくることを自信にしてグングン成績が上がっていった喜びを語ってくれました。そして宝先生に対する感謝の意持ちがあふれていました。

みなと高等学園の先生も駆けつけてくださり、激励の言葉を贈ってくださいました。

閉講式の後、最後の授業が始まり午後8時15分、生徒の皆さんは初めての授業の時とはすっかり別人のように自信に溢れた顔をして、笑顔で帰っていきました。皆さん、ここで頭に入れたことを出し切れば必ず合格します。4月までに取ればすぐに仕事に生かせるし、余暇を思う存分楽しく過ごせます。頑張ってください。

わーくぴあ徳島

◆いきいき安心とくしま子ども食堂◆
(NPO法人フードバンクとくしま)

「いきいき安心とくしま子ども食堂」は、毎月1回、原則第4土曜日に開催しています。写真は、万代町にある Bandai Creer（バンダイクレール）で開催した時のものです。

昼食メニューは、から揚げ、コープ自然派事業連合から提供されたパンを揚げたもの、フードバンクとくしまに寄付された防災備蓄品の豚汁でした。どれもたいへん好評で、喜んでいただきましたが、豚汁が一番おいしい！という感想を聞いた時には、言葉がでませんでした。

確かに、最近の防災用保存食はとてもおいしいのですが…。ともあれ、おいしく食べていただけたようです。



屋外では、竹馬やかんぽっくり（または缶馬（カンマ）などと呼ぶらしい）など、昔なつかしい遊戯具で遊びました。



竹馬は、子どもたちにとっては珍しかったようで、果敢に挑戦する子たちがたくさんいました。小さい子たちには、かんぽっくりの方が楽しかったようです。昭和生まれの自称お兄さん、お姉さんたちも童心にかえて竹馬を楽しみました。幸い誰も怪我をせずにすみました。



Creer（クレール）さんが、スケートボード場を開放してくれたので、子どもたちは、滑り台のように遊んだり、鬼ごっこをして駆け回ったりと、思い思いに遊んでいました。

保護者の方々にも楽しんでいただけたようで、また来たいと言ってもらえました。

特定非営利活動法人 **フードバンクとくしま**

品質に問題がなく包装が破損しただけの食品や消費期限が近づき販売できない食品・食材を企業や小売店、個人から寄贈してもらい、必要とされる団体や福祉施設などへ無償で提供しています。

提供いただきたい食品

缶詰、瓶詰、インスタント食品、レトルト食品、乾物、お米、麺類、お菓子 等

《お問い合わせ》 **フードバンクとくしま事務局**
☎ 088-679-1919



ZENROSAI NEWS 3617A011

ほなけん安心! ええじょ! 全労済

カーライフを応援する、頼れる補償

マイカー共済

自動車総合補償共済

安全運転
をホメよう



全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済 徳島推進本部

徳島県共済生活協同組合

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会



平日、忙しい人のために
休日に相談できる
ところがあるんだって。
けっこう、いいよね。
だから、私も、ろうきん。

けっこう使える。
ろうきん

あなたと
わかちあう
次の一歩

ろうきん
アンバサダー
高梨 藍



発行 公益社団法人

徳島県労働者福祉協議会

徳島市昭和町3丁目35-1 (わーくびあ徳島 内)

TEL (088) 625-8387・FAX (088) 625-5113

URL <http://www.tokushima-rofuku.net/>

e-mail tokushima@rofuku.net

編集・発行人 川 越 敏 良

印刷者 (有)フォトプリント白石